

パレスチナ- 激化する暴力の影響を受けるコミュニティへの緊急SRHサービス提供

2024年1月-2025年6月

主な成果

重要なSRH・GBVサービス
を受けた人数

67,811人



提供されたSRHサービス

280,006件

若者に適したSRH情報や
サービスを受けた人数

18,783人

10,836人に6万件を超え
る医療サービスを提供し
たモバイル診療キャンペ
ーン数

108回

941のサービスを提供し
た助産師チームの家庭訪
問数

200件

「出産の準備」セッシ
ョンに参加した妊婦の人数

86人

ヘブロンの利用者

「最も必要なときにモバイルクリ
ニックが地域に来てくれました。
妊娠中にケアを受け、アドバイ
スをもらったことで安心し、希望を
持つことができました」

背景

パレスチナでは紛争の激化、規制の強化、人道的なニーズの深刻化により、特に女性や女兒、周縁化されたコミュニティが、必要不可欠なセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス (SRH) サービスへのアクセスを大きく制限されています。こうした中、強制移住、インフラの破壊、移動制限、医療システムへの過負荷などが、状況をさらに悪化させています。

本プロジェクトは、最も必要とされている地域で命を救う SRH・GBV（ジェンダーに基づく暴力）サービスを提供し、これらの問題の対処に重要な役割を果たしています。プロジェクトは、脆弱かつ支援が届きにくい地域でも女性や女兒が尊厳を持って安全な状況でサービスにアクセスできることを確実にし、最終的には紛争の影響を受けた地域の健康、安全、人間の安全保障の向上に貢献します。

プロジェクト概要

本プロジェクトは日本政府の支援を受け、IPPFパレスチナ (Palestinian Family Planning Association: PFPPA) が実施。モバイルアウトリーチキャンペーンや啓発セッション、家庭訪問やコミュニティベースの支援を通じて、総合的なSRH サービスを提供することに重点を置きました。特に紛争の激化や制限措置の影響を受ける若者や妊娠中の女性、避難を余儀なくされたコミュニティのニーズを優先的に取り上げました。プロジェクトの目的は、GBVからの保護とケアを含む命を救う必須のSRHサービスの提供を通じて、女性や女兒の予防可能な死を回避し、パレスチナにおける人間の安全保障に貢献することでした。

さまざまなサービスは、ラマラ、ヘブロン、ハルフル、ベツレヘムやC地区などの周縁化された地域に設置されたサービス提供拠点 (SDP) を通じて提供されました。これらのSDPに加え、モバイルアウトリーチチームが活動し、在宅ケアを実施しました。さらに、SRHRについての知識を向上し、サービス利用を促進するため、コミュニティ参加型活動や啓発セッションを行いました。プロジェクトは、インフラの課題や安全上問題がある地域にも支援を届け、効果を最大化できるよう、現地パートナー団体とも協力して実施されました。



妊娠3カ月のヒバは、日本政府の支援によるIPPFパレスチナのアウトリーチキャンペーンの一環としてデイラト(Deirat)のモバイルクリニックで開かれた相談会に出席しました。ヒバは生後4カ月の息子を亡くした悲しみを忘れられずにいます。その当時はクリニックがなく、交通手段もありませんでしたが、今回は3人の娘を連れて来ることができました。「妊婦健診を受けるだけのために来たのではなく、クリニックまで行けないとき、中間地点で診察してくれる医師や医療サービスがもっと必要だということを伝えたかったのです」。

主な活動

本プロジェクトは主な目標値を大幅に上回りました：SDP利用者は52%、若者支援センターの受益者は30%目標を上回り、モバイルアウトリーチは目標人数の169%増を達成しました。サービス提供も想定値を上回り、SDPを通じたサービスは106%増、若者支援センターでのサービスは116%増、モバイルクリニックキャンペーンは186%増、家庭訪問サービスは57%増を達成しました。これらの成果は、以下の包括的な取り組みを通じて達成されました。

- 常設のSDPを4カ所で運営 — ラマラ、ヘブロン、ハルフル、ベツレヘムで人道危機下においても継続的なSRH・GBVサービス提供を強化
- モバイル医療チームの派遣 — 支援が届きにくく、紛争の影響を受けた地域にSRHケアを提供
- コミュニティ啓発セッション実施 — SRHRおよびサービス利用に関する理解を促進
- 情報提供やリファラル（紹介）など、若者に寄り添ったSRHサービス提供
- 産前産後ケアやSGBVサバイバー向けの特別支援を提供
- 妊娠中の女性への継続的ケアを確実にするため、家庭訪問を実施
- 現地パートナーとの協働 — 非安全地帯での支援や対応を拡大
- 安全な出産に関するコミュニティの意識向上を促進